

# うたごえ新聞

# 1/6・13

(1986年)

NO. 1090

THE SINGING VOICE OF JAPAN

日本のうたごえ全国協議会機関紙  
発行 東京都新宿区大久保 2-16-36  
☎03 (209) 0638~9 うたごえ新聞社  
振替口座 東京2-5631 昭和34年1月31日  
第三種郵便物認可 毎週月曜日発行  
1部100円(〒25円)・月380円(〒120円)

## 新 春 に ソウ 列車

(合唱構成会ぞうれっ) しゃがやうてきたく) **が走る**

### 4頭のゾウの話

今から五十年も昔、日本が中国と戦争を始めた昭和十二年の冬のこと、名古屋の東山動物園に四頭のソウ(キコ、アドン、エルド、マカニ)がやって来ました。

「やがてサーカスはできなくなる。公立の動物園なら安全に暮らしていただけるわ。」。こう考えた木下サーカスの団長が、四頭一揃ならと譲ってくれたのでした。

ちの姿を見て、当時の動物園の園長、北王英一さん(現在85歳)は「こんなことがあっても、ソウたちは守ってやる」と心に誓ったのでした。

「東山動物園にも迫ってくる脅威を感じていました」「人間は勝手ですね。戦争が始まると、動物園は無用の長物、役に立たない。物騒な猛獣を飼ったり、かぼつたりすれば非国民扱いでした」。それでも北王さんは、ソウを暴れないようにつなぎ、軍や

でも、ソウ使用の少女たちは猛反対。お別れの日、少女たちの目は真っ赤でした。動物園まで歩いていく途中降ってきたみぞれ。オーバーを脱いでソウにかけてやる少女たち

やがて戦争が... 戦争はだんだんと激しくなり、日本各地に爆弾が落ちてきた。動物園に与える食糧も底をつき始めました。そして、次々とはいってくる悲しい知らせ

せ。それは、各地の動物園で動物たちが殺されたという知らせでした。「東山動物園にも迫ってくる脅威を感じていました」「人間は勝手ですね。戦争が始まると、動物園は無用の長物、役に立たない。物騒な猛獣を飼ったり、かぼつたりすれば非国民扱いでした」。それでも北王さんは、ソウを暴れないようにつなぎ、軍や



▲昭和24年6月、名古屋・東山動物園にむけて「ソウ列車」は走った。(写真は東山動物園でソウと遊ぶ子どもたち) =写真提供・毎日新聞社

## 50年も前の話...

# その頃、戦争があった



▲北王英一さん

### 子どもの夢をのせ

昭和二十四年、東京都台東区の子どもの議会の代表が「ソウを貸してほしい」と名古屋を訪ねました。しかし、輸送方法がありません。

「ソウ列車を走らせよう」子どもたちの夢をかかなえるため、国鉄が特別列車を仕立てることにしました。全国各地から子どもたちを乗せ、名古屋に運び、一日、ソウと交流を楽しむ。その年の六月から約一年にわたり、全国から三万人の子どもの

ちが東山動物園を訪れ、ソウの背中に乗せてもらったりして遊びました(写真上)。

今年、合唱構成に愛知県にこの物語を合唱構成しようとするグループがある。一昨年から昨年にかけて、愛知の管理主義教育の実態をうたった「青春は嵐の中に」をのべ二万名に普及し、団員も四十数名になった。愛知子どもの幸せと平和を願う合唱団(石原則義団長)です。

「地元でこのような話があることを知りませんでした。一日一日、ソウの命を守るために努力した結果、救うことができたんですね。展望をもつと同時に、子どもを預け、まわりのおとなの力で実現させたことがすばらしいと思えました」。新しい合唱構成に思いをほせ、石原団長は語りま

「大切なものを守っていく」ということを子どもたちに伝えたい。戦争を知らない若い団員たちは話しあい、書かれた詩は十七編にもなります。曲作りと同時に、合唱構成をうたう団員の募集も始まりました。

子どもたちの夢と、おとなたちの平和への願いをのせて「ソウ列車」は新しい年にむかって走りだしたのです。

「中流意識」がもてはやされてきた。マイホーム、モノ「文化」...外見は立派に見える。でも、その根っ子に悲鳴が聞こえないだろうか。

子どもたちの合唱も含め、二百名の人がたどったついでにきたいと準備中です。

※初演は3月30日・名古屋市教育センター。問番052-711-3087石原。

「家の最後の払い、今日ですませました。今日です。でも、もう住む人はいない。...借りの払いも、みんななくなつたのよ。...これで自由になつたのよ。」

「国民年金、一年もためておんだけど、どうしよう。ある時、こんな話題になった。」

「虎の子」をはたいても生活できない暮らし。ローンを払うために働いているような生活。働く者が花咲く文化、花咲く社会が築かれる新春である。

おこたわり  
今号は新年合併号です。次週は休刊し、新年は一月二十日号(一月十日発売)となります。

## 芸能界・賞レースの虚実!?、演歌を訪ね

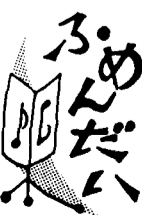
て(服部知治) 2・3面、新連載 『はやり歌と昭和史』(木津川計) 2面、プロ野球界に労働組合

新春 飯沢匡さん 6面、アパルトヘイトに反対するミニ

ージシャンたち 9面、浜島幹事長、新春に語る

新シリーズ 文化の諸相(第1回) 間島三樹夫) シルポ86(「君が代」!?)

12面



新年早々にネクラっ

ばい話題から。

☆ ☆

「国民年金、一年もためておんだけど、どうしよう。ある時、こんな話題になった。」

☆ ☆

「家の最後の払い、今日ですませました。今日です。でも、もう住む人はいない。...借りの払いも、みんななくなつたのよ。...これで自由になつたのよ。」

☆ ☆

「中流意識」がもてはやされてきた。マイホーム、モノ「文化」...外見は立派に見える。でも、その根っ子に悲鳴が聞こえないだろうか。

☆ ☆

「虎の子」をはたいても生活できない暮らし。ローンを払うために働いているような生活。働く者が花咲く文化、花咲く社会が築かれる新春である。

おこたわり

今号は新年合併号です。次週は休刊し、新年は一月二十日号(一月十日発売)となります。

送)となります。

おこたわり

今号は新年合併号です。次週は休刊し、新年は一月二十日号(一月十日発売)となります。

送)となります。

おこたわり

今号は新年合併号です。次週は休刊し、新年は一月二十日号(一月十日発売)となります。

送)となります。

おこたわり

今号は新年合併号です。次週は休刊し、新年は一月二十日号(一月十日発売)となります。